

映画「夢の間の世の中」 安心が生命の再生に

「袴田巖 夢の間の世の中」上映会が6月26日札幌プラザ2・5で行われ、260人の市民が鑑賞しました。映画上映にあたっては、袴田事件弁護士とともに国民救済会道本部が上映会の実行委員会を構成して、札幌市、札幌市教育委員会、札幌弁護士会の後援も得て、宣伝、普及を進めてきました。映画鑑賞後のアンケートには60人もの市民が意見

感想を寄せました。感想は別掲で紹介していますのでご覧ください。また、署名も81筆の協力がありました。映画上映後の袴田事件弁護士団の笹森学弁護士の司会で進められた袴田秀子さん、金聖雄監督とのトークでは、映画では描かれていなかった巖さんの近況、あるいは監督の映画製作の狙いなどについて意見が交わされました。金監督は、巖さんは



札幌プラザ2・5に貼り出されたポスターを背にトークを前に袴田秀子さんを真ん中に金聖雄監督(左)と笹森学弁護士。

拘置所の非人間的な世界から安心して食べて眠ることによって生命が再生している」と語り、そのことは

映画でも描かれており理解できる内容でした。映画パンフレット60冊、巖さんをあしらった手ぬぐ

い20本も好評で完売しました。

なお、北海道新聞が上映企画の案内記事を6月15日朝刊、上映翌日朝刊にはトークの内容を題材に写真入りで報道しました。

自由な選挙活動よびかけ 民間パトロール車 道央圏走る

諸般の事情で運行開始が遅れましたが、参院選の自由な選挙活動をよびかける民間パトロールを協力組織より車を借用して7月1日より9日まで行いました。期間が短いなかで、札幌市とその周辺自治体にも出か

【次頁へ続く】